

(様式2)

## 令和5年度公開授業・公開講座用シラバス

※の欄は記入不要		科目No.	13-①
大学・短大名	東北医科薬科大学	学部・学科	薬学部・薬学科
授業科目名	ミクロの世界へのいざない	担当教員名	山口 芳樹
開講期間	令和5年8月19日	開講曜日・時間	土曜日・10:00-11:10
受入人数	90	会場	小松島キャンパス
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	<p>大学で行われている講義や研究活動の一旦に触れることを目標にします。高校で学んでいる内容とは一味違う世界に突入し、学問としての面白さを味わってほしいと願っています。紹介するのは、物理、化学、生物の3科目を合わせたような分野(生物物理化学)になります。</p>		
授業内容・計画等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 我々の体の構成成分(生体分子)について理解する。</li> <li>2. ミクロの世界を調べるための方法について知る。</li> <li>3. ミクロの世界の実際に触れる。</li> <li>4. 薬が働いている様子を覗いてみる。</li> </ol>		
テキスト・教材・参考書等	<p>テキスト・教材は特にありません。以下は大学・研究についての読み物です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 何のために「学ぶ」のか 中学生からの大学講義   ちくまプリマー新書</li> <li>2 続・僕たちが何者でもなかった頃の話をしよう 文春新書 池田理代子他</li> <li>3 バッタを倒しにアフリカへ 光文社新書 前野ウルド浩太郎</li> </ol>		
履修上の注意	<p>この講義は、医学部2名・薬学部2名 計4名の本学教員によるオムニバス形式で行います。全4コマ、是非最後まで受講してください。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>生きているとはどういう状態なのか？薬はなぜ効くのか？実はまだわかっていないことは沢山あります。これらの問題に取り組むためには、生体の部品をよく理解することが必要になります。我々の体はタンパク質や核酸、脂質、糖質などの化合物から構成されており、これら化合物の”形”・”動き”・”相互作用”を知ることが体の仕組みを理解する第一歩になります。ミクロの世界の不思議に触れていただけたらと思います。</p>		

(様式2)

## 令和5年度公開授業・公開講座用シラバス

※の欄は記入不要		科目No.	13-②
大学・短大名	東北医科薬科大学	学部・学科	医学部・医学科
授業科目名	整形外科学	担当教員名	小澤 浩司
開講期間	令和5年8月19日	開講曜日・時間	土曜日・11:20-12:30
受入人数	90	会場	小松島キャンパス
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	<input checked="" type="radio"/> ①対面のみ <input type="radio"/> ②オンラインのみ <input type="radio"/> ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	高齢化社会における運動器の重要性について学ぶ		
授業内容・計画等	<p>授業テーマ:「運動器と社会活動」</p> <p>運動器とは骨、筋肉、関節、神経などの総称です。運動器はそれぞれが連携して身体の各部を動かし、人間が活動を行う根幹部分を担っています。本講座では、身体はどのような仕組みで動くか、身体の動きが衰える原因、それを防ぐにはどうしたらよいか解説します。</p>		
テキスト・教材・参考書等	テキストは特にありません。		
履修上の注意			
高校生へのメッセージ等			

(様式2)

## 令和5年度公開授業・公開講座用シラバス

※の欄は記入不要

科目No.	13-③
-------	------

大学・短大名	東北医科薬科大学	学部・学科	薬学部・薬学科
授業科目名	がん薬物療法における薬剤師の役割 -過去・現在・未来-	担当教員名	岡田 浩司
開講期間	令和5年8月19日	開講曜日・時間	土曜日・13:30-14:40
受入人数	90	会場	小松島キャンパス
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	①対面のみ	②オンラインのみ	③対面・オンラインどちらでも可
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	<p>がん薬物療法はがん治療の中でも重要な位置づけになっています。一方、がん薬物療法で用いられる抗がん剤は使用法を誤ると、患者さんを命の危険にさらすことにつながるため、医師、薬剤師、看護師などの多職種が、それぞれの専門性を発揮し、連携を行うことが大変重要となっています。この授業ではがん薬物療法の中で薬剤師がどのような役割を發揮しているのか、理解することを目標とします。</p>		
授業内容・計画等	<p>①がん治療における薬物療法の位置づけと概略（講義）          ②がん薬物療法において、がん専門薬剤師が誕生した歴史的背景（講義）          ③がん薬物療法における薬剤師業務の実際とその重要性（講義・演習）          ④がん薬物療法の未来における薬剤師の役割（講義）</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>授業では講義内容のプリントを配布します。参考書等は講義の中で示します。</p>		
履修上の注意	<p>授業の中で抗がん剤投与量の計算、抗がん剤治療の根拠となる英語論文の一部を和訳する演習を行っていただきます。計算機能、辞書機能の付いたスマートフォン、電子辞書等を持参してください。</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>薬剤師の仕事の内容は、より専門的な知識、技能、経験が求められる内容に変化しており、がん薬物療法への関りもそのひとつです。この授業をとおして、薬剤師が薬物療法の有効性、安全性確保に重要な役割を果たしていることを知り、そのためにどのような学術的基盤が必要であるのかを感じ取っていただきたいと思います。</p>		

(様式2)

## 令和5年度公開授業・公開講座用シラバス

※の欄は記入不要		科目No.	13-④
大学・短大名	東北医科薬科大学	学部・学科	医学部・医学科
授業科目名	血液の病気について	担当教員名	亀岡 淳一
開講期間	令和5年8月19日	開講曜日・時間	土曜日・14:50-16:00
受入人数	90	会場	小松島キャンパス
公開授業・公開講座の形態(①～③から1つ選択し○をつける)	<input checked="" type="radio"/> ①対面のみ <input type="radio"/> ②オンラインのみ <input type="radio"/> ③対面・オンラインどちらでも可		
②または③の場合の具体的なウェブ会議ツールの名称等			
授業の目標等	<p>基本的な血球の働きや病気を理解するとともに、医学の進歩のプロセスを学びます。</p>		
授業内容・計画等	<p>血液には赤血球・白血球・血小板の3種類の血球が含まれ、これらの働きや病気を対象とするのが血液学です。血液学は、ここ数十年で飛躍的な進歩を遂げ、現在も進歩しつつあります。基本的な血球の働きや病気を概説した上で、白血病における造血幹細胞移植・分子標的療法を中心に、血液学の進歩をわかりやすく解説します。</p>		
テキスト・教材・参考書等	<p>特になし</p>		
履修上の注意	<p>特になし</p>		
高校生へのメッセージ等	<p>自分の適性をあまり限定せずに、何にでも好奇心を持ち続けてください。</p>		